

会議概要書

会議の名称	第2回 校名等検討委員会
日 時	令和3年11月30日（火）午後6時～8時
会 場	市役所 東中会議室
出席者	市教委：荒井教育長、三原課長、一本木課長補佐（中山職務代理者、仲原教育委員、下川教育委員）6名 委 員：9名
次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 会議事項 （1）新中学校名候補の選定について （2）校章・校歌の制定について （3）学生服等について 4 その他 5 閉 会
主な意見等	<p>【校名候補の選定に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選定の流れは ⇒ 校名等検討委員会で3～4点程度に絞って、再編準備委員会に報告し、再編準備委員会で1～2点程度にして教育委員会へ報告できればと考えている。 ・選定基準について県外で同じ名称は良いのか ⇒ 基準としては県内に限る。 ・選定基準 ⇒ 案のとおり。 ・選考方法について案1と案2のミックスはどうか。 ・選考方法 ⇒ 委員1人4点以内の投票をする。 <p>○委員から投票いただいた校名候補 12 点を再編準備委員会へ報告する。</p> <p>【校歌に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校章も校歌も両方、生徒に制作に取り組んでいただくのは大変ではないか。 ・校歌については、作詞家・作曲家に任せるのが良いのでないか。 ・生徒の気持ちに寄り添った大卒の希望を伝えることができるのであれば、作詞家・作曲家に任せるのが良いと思う ⇒ 校名が決まらずともすぐに取り組みを進めて、全部が採用されるかは別として、イメージを踏まえた作詞を依頼することはよいのではないか。 ・専門家会議のメンバー ⇒ 案どおり。 <p>○子どもたちが描くイメージを踏まえた作詞もできるかを含めて、専門の関係者会議に依頼する。</p> <p>【校章に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒からの募集について、美術のカリキュラムの兼ね合いもあるが、地域のことを考えてデザインをすることは意義があると思う。

- ・生徒の校章デザインの取り組みについて、スケジュール案の2カ月では、カリキュラムが決まっていますので、総合学習の中でできないか校務等調整委員会の担当で取り組みが可能かどうか検討させていただきたい。
- ・授業の中で校章デザインができるかも両校で検討したい。
- ・中学生には、公募で集まった校章デザインを選定いただくことはできないか。
- ・両校の生徒と一緒にオンラインなどで選定ができるとか、来年度一緒になるので、校章の取り組みでなくてもよいが、交流ができる取り組みがあるとよい。
- ・新生徒会が発足する時期で、役員選挙でそれぞれの学校の終わりと再編を意識した考えを述べている。校章に限らず生徒会の交流を進めていきたい。校章も話題にすることも可能。
- ・生徒からの募集は、寸法などの規格は別途行うことを決めておいて、図案を広く募集し、以降は校務等調整委員会または生徒会にお願いするのはどうか。
- ・授業での取り組みでなく、一般公募の中で、生徒たちにも考えてもらう。校務等調整委員会の話題にさせていただく。
- 一般公募をする。学校でも取り組む。やり方（両校の交流方法も含め）は学校及び校務等調整委員会で検討する。
- ・春休み前に募集をしてほしい。
- ・一般公募と中学生の作品とすべてを中学生が選考するのか ⇒ 一般は含まない。
- ・中学生が考え選んだ作品の中から校章が決まるのであれば、時間をかけて取り組むことは意味があるが、選んでも選ばれないのであれば時間をかける意味はないのではないか。
- ・中学生も一般公募として応募するのはどうか ⇒ 数が多くなり選考が難しくなると考える。
- ・学校で生徒だけの作品選考はせず、校名募集と同じようにするのはどうか。
- ・一般公募だと生徒間で共同して考えて取り組むことはどのようになるのか。単なる個々の応募になるのではないか。選考があれば、生徒間で一緒に交流することができる。一般も含めすべての作品から選考すると決定にまで生徒たちが関われる。
- ・一般のものと学校のもの、分けた方がよいのではないか。中学生が選んだものが選ばれない可能性はある。
- ・中学生の作品応募の取り組みも全員でなく、やりたい生徒だけでいいのではないか。
- 選考について、中学校で取り組むものは、両校の代表生徒や先生で作品をある程度選考する。検討委員会では、中学の選考作品と一般公募の作品の中から選考していく。一般公募と学校募集用で進める。

【制服等に関すること】

- ・仁中保護者のアンケートから「お金がかからないようにしてほしい」「新しい制服着用は現小5からでよい」「開校当初は混在で構わない」「おさがりも考えてほしい」などの意見があった。また、小5年の保護者にアンケート実施してほしいとの意見がある。ポロシャツは、白は透けるので、紺がいいとかもある。
 - ・一中也同じ意見がある。1年生保護者を対象にアンケート。「おさがりが使えるように」「新中学校に入る1年生から新しい制服でよい」「在校生は当面使えるように」
 - ・3年生が新しい制服を買うのは無理である。
 - ・制服は要らないのではないかと。制服がない学校に通っていないので、あるのが当たり前になっている。制服の良い点もあるがデメリットも多い。大町の教育に「自律」を掲げているのであれば、制服なしで一定のルールの中で自ら考えるのがよいのではないかと。制服は毎日洗えないので不衛生な部分もある。LGBTの対応で男女分けたものを身に付けるのもどうか。細かな制服のルールもどうかと思う。
 - ・中2の国語の授業で、制服の有無について話合った。いろいろな意見があった。「毎日着るものを考えなくてよい」「考えるのが面倒」「着るものでいじめにならないか」、家庭の状況が見て取れるときに私服はよいのか。
 - ・何人かの保護者に聞いたが、「お金がかかるので私服はやめてほしい」という意見が多かった。特に女子は思春期で毎日同じ服は着ない。私服は理想だが大変である。
 - ・高校男子でも同じ私服は嫌がる。
 - ・中学生に一定のルールを示しても線引きに個人差がある。
 - ・高校で私服を試したことがあるが、試行後のアンケート結果で、「ヤダ」という意見が圧倒的に多かった。「服をもっていない」「選ぶのが大変」「服も買えない」。制服が大事と思ったことがある。
 - ・制服を着ていないと周りの人が何しにきているかわからない。学校に行くのか、休みなのか心配がある。また私服で歩いていたら、高校生なのか中学生なのかもわからないこともある。
 - ・管理の面では、制服の方がよい。今の時代なので、女性もスラックスがあってもよい。
 - ・女子のスラックスはあるが、利用は少ない。
- 制服は要るか要らないか ⇒ 制服は要るということで検討する。
- ・新しい学校になったときに、制服を使用しないことが、教育理念が一目でわかりやすいと思った。
 - ・指導の中心に協働の学びを据えていくこととは分けて考えた方がよい。